

2016(平成28)年度 第2回 千葉県支部役員会 議事録

日 時：2016年5月14日（土）13：00～14：30

場 所：きぼーる 千葉市ビジネス支援センター15階 多目的室

1. 幹事出席状況確認（敬称略 □出席、△欠席・委任状提出、■欠席）

□松井 隆支部長、△秋田義一、△秋元英郎、△今住則之、□江藤政継、□河北慶介、
■川畑真一、△久保康弘、□熊田成人、□桑島英明、□志澤達司、□進藤秀明、□滝沢
利治、■長見 茂、□西田 宏、□花岡善郎、□尾頭 誠、□保坂俊雄、■松本喜義、
□水野正勝、□宮田隆夫、□山下六男、□山本陽一、△和田保久（50音順）

以上、委任状提出者も含め計21名（出席16名、委任状提出5名）の幹事が出席し、
支部役員会は成立。

2. 議事概要（※質問・コメントの方の敬称略）

・支部長挨拶

新年度5月。この後の県支部活動報告・技術士合格者祝賀会の準備対応等多謝。

本日も宜しく願う。

[審議事項]

(1) 役員会議事録の作成について

議事録作成書記は西田幹事、議事録署名人は松井支部長、花岡幹事及び保坂幹事が
指名・承認された。

(2) 2016(平成28)年度 第1回千葉県支部役員会議事録(案)の確認（資料2-1）

原文のとおり承認された。

【委員会・チーム活動報告】

(1) 企画委員会（保坂委員長）（資料2-2）

① 第35回CPD(4月16日)実績報告及び、第36回(5月14日)第37回(7月18日)
の計画説明

② 追補報告：第36回CPD講演の講師謝礼金対象除外について（総務委員会山本）
今回演題は県支部活動報告であるが本部総務部鈴木氏より以下のメール回答あり。
「講演会等補助金規則上、会活動報告などは謝礼金対象とならない。ただし同一
CPD行事内にこれに該当しない演題があればそれは謝礼金対象となる」由。

(松井) 第37回講演は(株)ウェザーニューズより最新気象情報技術動向のテーマ。
本件全地球的にリアルタイムかつ高精度化が進展し船舶運航の経済経路選択に
まで寄与していると聞く。興味深く期待する。

(2) 広報委員会 (総務委員会山本代読) (資料 2-3)

- ① WEB 更新の件 (資料参照)。
- ② 会報第 3 号 Web 発刊(4 月 15 日)。第 4 号は 10 月に予定。
- ③ 千葉県支部パンフレット 2016 年版更新(5 月 9 日)無料ダウンロード印刷活用可能

(3) 活動推進委員会 等

1) 企業支援チーム : (進藤チームリーダー) (資料 2-4)

- ・人材資源登録状況 28 年 4 月末現在 126 名 (先月から 1 名増) 引き続きの登録乞う。 ACT 未登録各会員
- ・同様にミラサポ、県、市向け専門家登録乞う。 ACT 未登録各会員
- ・千葉県産業人クラブ会員 97 社アンケート調査の回答 11 社(既報)向け企業訪問は 5 社まで完了。2 社 5 月アポ。残り 4 社向けフォロー中。
- ・千葉市産業振興財団にてベンチャーカップ受賞企業 27 社アンケート調査を実施し 回答 3 社(4.24 現在)を得る。訪問計画中。

(松井) 企業訪問を具体的支援に結び付ける感触如何?

→ (進藤) 化学系中小某社訪問時談「これまで産学連携に関与するも大学は先端技術指向、当方は既存技術応用指向と立場にギャップを感じる。今は会社ステータスアップの宣伝費と割り切り。」技術士の実践技術ノウハウがこれに応えられるかと。

2) 防災支援チーム : (江藤チームリーダー) (資料 2-5)

- ・千葉市との防災支援協定締結について 市役所危機管理課新任窓口(前任より本件引継ぎ)初回打合せ(4 月 15 日)にて、締結予定 6 月頃の回答を得る(熊本震災関連多忙の由)。チームは所定書式提出済(4 月 24 日)
 - ・協定有無に係わらず防災支援チームへの市側後援は可能、ただし他自治体折衝の正面には立てない旨。故に大熊町職員の県支部 9 月防災講演会招聘は困難と判断する。
 - ・佐倉市某団地自治会から日本技術士会 HP 閲覧を契機に本部側に防災講演依頼あり。県支部本チームがこれを引継ぎ 5 月 20 日団地自治会と派出調整会合予定。HP の効果!
- (西田) 今般熊本・大分震災への日本技術士会の対応如何?

→ (松井・江藤) 九州部会は動いている模様だが詳細不明。本部にまだ動きはない。当然に土木学会等関連学会が現地に即応派出しており学術的・組織的に対応中。当面の技術士会立ち位置は動向モニタであり、県支部の役割はこれを千葉県防災に反映することであろう。

3) 産官学連携チーム : (宮田チームリーダー) (資料 2-6)

- ・岡本硝子会社訪問報告他。企業支援チームと連携対応。

4) 追加報告 1 賛助会員企業について : (総務委員会山本) (口頭)

- ・28 年 3 月時点 4 社であり、今般 (株)市川環境アセスが新加入(山下の紹介) なお、年会費は旧 3 万円から昨年度より 2 万円に改定。

5) 追加報告2 年次大会(7月18日(月)海の日)の準備について

(総務委員会山本)(口頭)

- ・年次大会の日程が決定。これに向け恒例の各委員会・チームの昨年度活動及び今年度活動予定の提示要(決議ではなく報告文書)
 - ・上記作成に向けPDCAサイクル準拠の従来Excel書式の改善要否等を、長野県支部報告事例他を参考に、役員会で検討する。 ACT 役員会
- 報告書の作成展開はこの決定を経てからとする。

6) 追加報告3 船橋市と県支部の係わりについて(支部長松井)(口頭)

- ・船橋市主催新製品技術開発促進事業の推薦委員に従来県支部は匂坂を配置していたが、昨年川口洋一に変更、年次更新につき本年度も同氏登録とする。
 - ・新たに船橋市主催ものづくりグランプリの評価委員への県支部参加(江藤が初動)を行う。産官学連携チームリーダー宮田を任命し5月20日までに登録する。*
- (松井) 船橋市松戸市長は技術士会の活動・関与に期待しておられる。千葉市同様各自治体とのパイプ作りや支援貢献の強化を引き続き進めたし。
- (松井) *のような各種の依頼に対し県支部としての組織的な対応(絶やさず将来に繋げていく為)の手順・ルールを定めたし。 検討 ACT 役員会 6月4日

7) 追加報告4 青少年のための科学の祭典(6月11-12日)の出展準備について

(科学技術・理科支援チームリーダー山下)(口頭)

- ・今回新作の鉱石ラジオの工作につき担当今住は事前にきぼーる施設内での電波受信状況を実地調査し設置フロアを指定する等尽力対応中。この一環として同氏提案の県支部のぼりの作成をデザイン及び仕様決め並びに費用負担(ポールは飯沼が寄贈。他も見通し有)等関係者で詰めつつあり。現時点支持台準備が要領未定であり関係者の案出・協力をお願いする。 ACT 本件関係者
- (松井他) 県支部のぼりは他チーム活動向けの多用途が期待でき是非今回の実現を期す。
- 保管場所はポール支持台含め県支部事務所で支障あるまい。

以上

[配付資料]

- (資料2-1) 2016(平成28)年度 第1回千葉県支部役員会 議事録(案)
- (資料2-2) 企画委員会報告 第2回役員会資料
- (資料2-3) 広報委員会活動報告
- (資料2-4) 企業支援チーム活動報告
- (資料2-5) 防災支援チーム報告
- (資料2-6) 産学官連携チーム活動報告 5月

議事録作成者

議事録署名人(署名捺印)

西田 宏

松井 隆

花岡 善郎

保坂 俊雄